

① 「防災基礎」

コース構成表（研修内容整理表 第4階層、第5階層）

※防災研修コーディネーターにより見直し済み

資料1-3

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)		単元 (第4階層)	手法	単元の概要	学 習 目 標 (第5階層)
1	防災行政概要	維持	防災基礎総論	座	防災・危機管理の基本的な考え方を学ぶ。	・ 防災・危機管理の基本的な考え方を説明できる。
2	防災基礎総論	維持	防災行政概要	座	防災活動全体の流れと個々の活動の基礎的な知識を学ぶ。	・ 防災活動全体の流れについて説明できる。 ・ 防災活動の概要について説明できる。
3	災害対策基本法	維持	災害法体系	座	災害対策基本法・災害救助法などの構造や適用範囲、権限の概要を学ぶ。	・ 防災活動に関連する法令の概要を説明できる。
4	地域防災計画	維持	防災計画	座	防災基本計画と地域防災計画の内容を学ぶ。	・ 防災基本計画の内容を説明できる。 ・ 地域防災計画の概要について説明できる。
5	地震・津波発生のメカニズム	維持	地震・津波のメカニズムと実態	座	地震・津波のメカニズムと災害による被害、防災対策を学ぶ。	・ 地震と津波のメカニズムとその被害について説明できる。 ・ 地震災害と津波災害の防災対策の概要について説明できる。
6	風水害のメカニズム	維持	風水害のメカニズムと実態	座	風水害のメカニズムと災害による被害、防災対策を学ぶ。	・ 風水害のメカニズムとその被害について説明できる。 ・ 風水害の防災対策の概要について説明できる。
7	火山災害のメカニズム	維持	火山のメカニズムと実態	座	火山のメカニズムと災害による被害、防災対策を学ぶ。	・ 火山のメカニズムとその被害について説明できる。 ・ 火山災害の防災対策の概要について説明できる。
8	災害予測	統合	災害対応過程と態度を学ぶ	演	災害対応過程と態度について具体的な事例に沿って学ぶ。	・ 災害対応過程と態度について具体的な事例に沿って説明できる。
9	災害対応過程と態度を学ぶ 災害エスノグラフィー演習	維持				
10	全体討論	維持	全体討論	演	防災力アップのため、災害対応の基本について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考える。	・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。

② 「災害への備え」

コース構成表（研修内容整理表 第4階層、第5階層）

※防災研修コーディネーターにより見直し済み

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)		単元 (第4階層)	手法	単元の概要	学 習 目 標 (第5階層)
1	災害への備え総論	維持	「災害への備え」総論	座	自助・共助・公助による「災害への備え」の基本的な考え方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害予防の防災の中での位置づけ及び主な内容を説明できる。 災害予防における自助、共助、公助の意味と共助の重要性を説明できる。 防災における民間主体との連携のあり方を説明できる。 代表的な被害抑止対策について説明できる。
2	施設・計画による災害予防対策	統合	新規 「災害への備え」としての 地域防災計画	座	自治体が、地域防災計画や地区防災計画を具体的な施策として、どのように災害の備えに活用するのかを実践的に学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画の目的と概要を説明できる。 地区防災計画の目的と概要を説明できる。 地域の防災政策を進めるにあたっての防災計画等の活用について説明できる。
3	災害ボランティア	維持	災害ボランティア	座	災害ボランティアや企業や市民団体、個人等の自発的な防災協力について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティア及びその活動の位置づけ・種類・特長を説明できる。 災害ボランティアの受入れ・調整に関する現地での仕組みを説明できる。 災害ボランティアの活動の実際と課題、展望を説明できる。
4	企業防災	維持	新規 地域の自主的な防災活動	座	住民の自主防災組織、地域の企業やNPO等の自主的な防災活動について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の目的と制度概要について説明できる。 自主防災組織に期待される役割と現状、課題について説明できる。 地域の他の自主的な防災団体の役割と現状、課題について説明できる。
5	減災対策演習	維持	「災害への備え」 ワークショップ	演	地方自治体の防災行政における自助・共助・公助の実践的な推進の仕方についてワークショップ形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 所属団体の減災対策（災害予防）における自助、共助の促進策についての議論ができる。 民間部門との連携のあり方についての議論ができる。
6	行政のBCM	維持	行政のBCM	座	行政におけるBCMの意味と策定のポイントについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 行政のBCP、BCMの意義と必要要素を説明できる。 重要業務に不可欠なリソースの確保の重要性と主な方法を説明できる。 特に、行政庁舎の代替拠点の確保の必要性の選定方法を説明できる。 訓練、維持管理、見直しの重要性を説明できる。
7	自主防災組織・地区防災計画	拡充	住民啓発・災害教訓の伝承	座	住民啓発、災害教訓の伝承について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 住民向けの防災の啓発の意義と留意事項を説明できる。 災害教訓の伝承の意義と具体的事例を説明できる。 地域の防災訓練の意義と基本的な方法を説明できる。
8	住民啓発・防災教育・ 災害教訓の伝承	拡充	新規 防災教育	座	地域に根差した防災活動を実施するための防災教育について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 防災教育の意義と基本的な方法を説明できる。 学校教育又は課外活動における防災教育の具体的な事例を説明できる。 地域コミュニティ向けの防災教育の具体的な取り組み事例を説明できる。
9	住民啓発・防災教育演習	廃止	企業防災	座	企業が災害時に果たすべき役割を認識し、企業と行政が連携した防災活動について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 指定（地方）公共機関である企業の防災での役割と行政との連携を説明できる。 災害対応における企業の役割を説明できる。 災害協定の重要性と協定締結状況を説明できる。 企業の事業継続計画（BCP）の意義と特徴を説明できる。
10	全体討論	維持	全体討論	演	減災対策について学んだことを、受講者が自らの地方自治体でどのように反映させるのかを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 研修受講の目的を再認識する。 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 研修を活かして次につなげることを認識する。

③ 「警報避難」

コース構成表（研修内容整理表 第4階層、第5階層）

※防災研修コーディネーターにより見直し済み

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)		単元 (第4階層)	手法	単元の概要	学 習 目 標 (第5階層)
1	警報避難総論	維持 →	警報避難総論	座	警報避難対策の基本的な考え方と事前対策を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 警報等の伝達及び避難誘導の目的、実施主体と役割について説明できる。 警報等の伝達及び避難勧告等の判断・伝達の流れについて説明できる。
2	避難勧告等の判断・伝達	維持 →	避難勧告等の判断・伝達	座	避難勧告等の判断と伝達方法について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 住民等の避難行動の考え方について説明できる。 避難準備情報や避難勧告等の判断に必要な考え方を説明できる。 避難勧告等を住民に伝達し、周知するための伝達方法について説明できる。
3	警報等の種類と内容	維持 →	警報等の種類と内容	座	警報等の種類と内容、伝達を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 注意報と警報、特別警報の意義付けと意味について説明できる。 警報等の入手方法と伝達にかかる主体について説明できる。
4	風水害における警報と避難	維持 →	風水害における警報と避難	座	風水害における警報と避難の実務について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 風水害における警報と避難の実務について説明できる。 水害時における災害対応の難しさを説明できる。
5	風水害における タイムライン計画演習	維持 →	風水害における タイムライン計画	演	風水害における警報と避難のタイムライン計画の作成方法について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 風水害における警報と避難のタイムライン計画の作成方法について説明できる。 外部/内部調整をタイムラインで整理する方法を説明できる。 決心ポイントとタイミングを説明できる。 実際の現場における決心・調整の難しさを説明できる。
6	土砂災害における警報と避難	維持 →	土砂災害における警報と避難	座	土砂災害における警報と避難の実務について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害における警報と避難の実務について説明できる。
7	土砂災害の事例に学ぶ演習	維持 →	土砂災害の事例に学ぶ	演	土砂災害の事例から土砂災害における警報と避難について、その実態を演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害における警報と避難の難しさを説明できる。 土砂災害における警報と避難の決心ポイントを説明できる。 土砂災害における警報と避難にスネークラインを活用できる。
8	避難場所・避難所の認定	維持 →	避難場所・避難所の認定	座	住民等の避難行動の目的となる避難場所・避難所の種類とその設置要件を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所・避難所の種類と内容について説明できる。 避難場所・避難所の認定の方法について説明できる。 風水害で被災した避難所の事例を説明できる。
9	避難場所・避難所の 認定演習	維持 →	避難場所・避難所の 適否判断演習	演	災害ごとに避難場所・避難所の適否判断をするうえでの行動を演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所・避難所の適否判断の基本的な考え方について説明できる。 避難場所・避難所の適否判断を適切に行うためのポイントを説明できる。 過去災害を事例とした避難所の適否判断を行う。
10	全体討論	維持 →	全体討論	演	防災力アップのため、警報避難について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> 研修受講の目的を再認識する。 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 研修を活かして次につなげることを認識する。

④ 「応急活動・資源管理」 コース構成表（研修内容整理表 第4階層、第5階層）

※防災研修コーディネーターにより見直し済み

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)		単元 (第4階層)	手法	単元の概要	学 習 目 標 (第5階層)
1	応急活動・資源管理総論	維持	応急活動・資源管理総論	座	応急活動の流れと資源管理に関する基本的な考え方について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応急活動の流れと業務の概要について説明できる。 ・ 資源管理に関する基本的な考え方について説明できる。
2	緊急輸送ルートの確保	維持	救援物資の調達	座	救援物資の調達に関する実務と課題について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の民間企業・団体からの調達の実態について説明できる。 ・ 救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための留意点を説明できる。 ・ 救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための備えを説明できる。
3	広域部隊による広域的な応援	拡充	救援物資の輸配送	座	救援物資の輸配送・保管に関する実務と課題について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の輸配送の実態について説明できる。 ・ 救援物資の輸配送を民間企業・団体と連携して行う際の留意点を説明できる。 ・ 救援物資の輸配送を円滑に行うための事前の備えを説明できる。
4	医療	コース変更 ⑤被災者支援	警察による応急活動と緊急輸送路の確保	座	応急期における警察による治安維持活動と救助活動の概要と救援物資の輸配送等で必要となる緊急輸送路の確保のための交通規制や緊急車両の手続きなどを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察の救助活動の概要について説明できる。 ・ 災害発生時の緊急輸送路の確保の実態について説明できる。 ・ 被災地における治安維持活動の概要を説明できる。
5	人的資源の供給	統合	新規 救援物資ロジスティクス演習	演	災害時の救援物資の調達から輸送・保管・配布における留意点などを演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救援物資の調達業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。 ・ 救援物資の倉庫業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。 ・ 救援物資の輸配送業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。
6	物資資源の供給	拡充	地方公共団体間の相互応援	座	災害時の行政職員等による人的資源の確保について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応急活動の実施にあたっての人的資源の確保の重要性を説明できる。 ・ 行政機関の間で行われる応援受援の仕組みを説明できる。 ・ 自治体間の応援受援を円滑に行うための留意点を説明できる。
7	空間・サービスの提供	維持	自衛隊の災害派遣	座	自衛隊の災害派遣活動の実態と課題について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自衛隊の災害派遣における任務の概要を説明できる。 ・ 自衛隊の災害派遣における被災者支援活動の実態を説明できる。 ・ 災害対応に関する自衛隊と地方公共団体との連携の取組の例を挙げられる。
8	受援計画	統合	空間・サービスの提供	座	防災活動空間と応急活動を行うために必要となるサービスの確保について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害発生時において、応急活動を行うために求められる空間確保について説明できる。 ・ 災害発生時において、応急活動を行うために求められるサービスの確保について説明できる。
9	資源管理演習	維持	資源管理演習	演	災害対策本部における資源（人的、物的、空間・サービス）の確保、管理における留意点などを演習形式で考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な機関と連携して業務を実施する際の課題解決のための着眼点を説明できる。 ・ 災害対策本部を効果的に運営するために求められる空間・サービスを確保する上での着眼点を説明できる。
10	全体討論	維持	全体討論	演	防災力アップのため、災害時の物資物流と広域的な応援体制について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。

⑤ 「被災者支援」

コース構成表（研修内容整理表 第4階層、第5階層）

※防災研修コーディネーターにより見直し中

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)		単元 (第4階層)	手法	単元の概要	学 習 目 標 (第5階層)
1	被災者支援総論	維持 →	被災者支援の全体像	座	被災者支援の全体像を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 被災者支援の業務の流れを説明できる 被災者支援において果たすべき機能を説明できる 被災者支援の担い手について説明できる 被災者支援の場について説明できる 生活再建支援の全体像について説明できる
2	災害救助法と生活再建支援法	維持 →	災害救助法と生活再建支援法	座	災害救助法と生活再建支援法の位置づけ、被災者支援のための災害救助法と生活再建支援を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 法律の主旨を説明できる 対象範囲を説明できる 適用条件を説明できる 災害救助の種類と手続きの概要を説明できる 生活再建支援の種類と手続きの概要を説明できる
3	避難生活の支援	維持 →	避難生活の支援	座	避難生活の支援が果たすべき機能を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 避難所/避難場所にそなえるべき機能を説明できる 衣食住に係る支援を説明できる 医職趣に係る支援を説明できる 情報提供に係る支援を説明できる 福祉避難所/避難スペースを説明できる
4	多様な主体による被災者支援	維持 →	多様な主体による被災者支援	座	専門職能における被災者支援を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 自衛隊による被災者支援を説明できる 警察による被災者支援を説明できる 消防団、民生・児童委員による被災者支援を説明できる ボランティアによる被災者支援を説明できる 災害時要援護者支援を説明できる
5	避難所のライフサイクル演習	維持 →	避難所のライフサイクル	演	避難所のライフサイクルを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 避難所・福祉避難所の指定をためす 避難所の開設をためす 避難所の空間設計をためす 避難所運営に係る支援をためす 避難所解消に係る支援をためす
6	避難所以外の避難生活	維持 →	避難所以外の避難生活	座	施設避難、在宅避難を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 医療・福祉・教育施設における避難を説明できる 旅館・ホテルにおける避難を説明できる 在宅避難に必要な支援を説明できる 医療・保健・福祉資源による支援を説明できる 障がい者の避難実態を説明できる
7	仮設住宅のライフサイクル	維持 →	仮設住宅のライフサイクル	座	仮設住宅と借り上げ仮設住宅のライフサイクル、他の仮住まい形態を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 用地確保から仮設住宅確保までを説明できる 入居受付から仮設住宅解消までを説明できる 住居確保、入居、解消までを説明できる 施設における緊急的な入所を説明できる 血縁、社会縁における仮住まいを説明できる
8	医療による被災者支援	維持 →	医療による被災者支援	座	医療による被災者支援を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 被災者における医療支援の必要性を説明できる DMATによる被災者支援を説明できる 救護所における被災者支援を説明できる 避難所における被災者支援を説明できる こころのケアを説明できる
9	被災者支援の個別課題	維持 →	被災者支援の個別課題	座	被災者支援の個別課題を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 避難後の孤立解消の実際を説明できる 遺体処理の実際を説明できる 帰宅困難者対策を説明できる 広域避難の実際を説明できる 生活再建の実際を説明できる
10	全体討論	維持 →	全体討論	演	机上にて支援業務を計画する。	<ul style="list-style-type: none"> 与えられたシナリオにおける被災者の状況を理解できる 被災者のニーズを理解できる ニーズにこたえるために必要な支援業務をあげることができる 優先して取り組むべき業務を選択できる それらの過程について、議論ができる

⑥ 「復旧復興」

コース構成表（研修内容整理表 第4階層、第5階層）

※防災研修コーディネーターにより見直し済み

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)		単元 (第4階層)	手法	単元の概要	学 習 目 標 (第5階層)
1	復旧復興総論	維持	復旧復興総論	座	被災者・被災地の復旧・復興の理念とプロセスの全体像について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 復旧・復興の理念を説明できる。 復旧・復興期のプロセスを説明できる。 復旧・復興期における被災者の復興感と地方自治体の役割を説明できる。
2	被災施設・設備の応急復旧	維持	災害廃棄物処理	座	復旧・復興の出発点となる災害廃棄物の撤去・処理の進め方と留意点について、事例に基づき学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害廃棄物処理の意義と理念を説明できる。 災害廃棄物処理業務の概要と被災者に配慮した対応を説明できる。 災害廃棄物処理のための事前準備を説明できる。
3	災害廃棄物処理	維持	公共基盤の復旧 (基盤復興Ⅰ)	座	被災者の再建・復興の基盤となる、道路・公園・農業施設など被災地の公共インフラの本格復旧の理念と対応について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 生活や地域機能を支える公共インフラの復旧・復興の理念とプロセスを説明できる。 大規模災害からの復興に関する法律の理念と仕組みの概要を説明できる。 被災施設や社会基盤の復旧・復興の事業制度について概要を説明できる。
4	基盤復興	維持	市街地基盤の復興とまちづくり (基盤復興Ⅱ)	座	土地区画整理事業など市街地の基盤を再整備する復興まちづくりの意義と基本的な知識、推進にあたっての課題を、事例に基づき学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 過去の災害における被災市街地の復興とその意義を体系的に説明できる。 被災市街地の復興まちづくりにおける地域住民の参加の意義と課題について説明できる。 復興事業の推進にあたって、地域住民の意向確認など復興モニタリングの重要性について説明できる。
5	生活復興 社会復興	拡充	復旧復興演習Ⅰ (復興都市計画・復興まちづくり計画)	演	災害復興のプロセスを理解するとともに、被災地域における災害復興の基盤となる復興都市計画の策定と推進のための復興本部体制について、被災自治体の責任者を招いて取り組み事例を学ぶとともに、心構えや事前の取り組みについて、演習形式で話しつつ考える。	<ul style="list-style-type: none"> 発災後の復興プロセスについて整理する。 被災地復興の基礎となる基盤復興のための復興都市計画の策定プロセスを確認する。 復興計画策定のための体制について確認する。
6	産業復興	維持	住まいの再建 (生活復興)	座	被災者の生活復興の基盤となる住まいの再建について、仮住まいの確保、被災程度による住宅の修理・再建支援、災害公営住宅の供給などについて、体系的に学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 被災者による住まいの意向調査の在り方および住まい再建・供給の概要について説明できる。 被災者に対する仮住まい（仮設住宅）の提供の概要を説明できる。 被災者の住宅の自力再建プロセスおよび支援について説明できる。 災害公営住宅の意義と留意点について説明できる。
7	復興計画とまちづくり	維持	産業の復興と雇用の確保 (産業復興)	座	地域社会の活力と被災者の雇用確保のための産業復興について、事例に基づいて基礎的な知識を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生後における地域経済の被害とその課題を説明できる。 災害発生後における地域の産業復興の視点と支援の概要を説明できる。 過去の災害における地域経済の産業復興の取り組み事例を説明できる。
8	復旧復興計画策定演習	拡充	復興基本計画と復興体制 (社会復興)	座	災自治体および被災地域の復興を総合かつ本格的に進めるための復興基本計画の策定とその推進体制について、事例に基づき体系的に学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画の体系と意義を説明できる。 復興基本計画・復興まちづくり計画の策定における住民・企業の参画の意義とあり方を説明できる。 復興基本計画の策定とその推進体制の概要を説明できる。
9			復旧復興演習Ⅱ (復興基本計画)	演	復興基本計画策定プロセスの理解と復興施策推進のあり方について、演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画の構成と理念を説明できる。 復興基本計画の策定における住民参加の在り方を説明できる。 復興基本計画の計画期間と復興施策の進行管理について説明できる。
10	全体討論	維持	全体討論	演	災害復興について事前に準備し取り組む事前復興の考え方に立って、復旧復興について学んだことを、受講者がどのように取り組むことができるかを討論し、可能性と課題を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 東京都における事前復興の事例から、災害復興の理念と事前の取り組みの意義を確認する。 研修を通じて、事前に取り組むことができる復興対策について整理する。 研修を活かして事前に取り組む、事前復興の意義とその可能性、解決すべき課題を認識する。

⑦ 「指揮統制」

コース構成表（研修内容整理表 第4階層、第5階層）

※今後、防災研修コーディネーターにより見直しを実施

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)		単元 (第4階層)	手法	単元の概要	学 習 目 標 (第5階層)
1	指揮統制総論	維持 →	指揮統制総論	座	指揮統制の基本的な考え方を学ぶ。	・ 災害対応における指揮統制システムの概要について説明できる。
2	リーダーシップ	維持 →	リーダーシップ	座	リーダーシップの基本的な要件と災害対応における指揮者の業務を学ぶ。	・ リーダーシップの基本的な要件を説明できる。 ・ 災害対応における指揮者の業務を説明できる。
3	指揮命令	維持 →	指揮命令	座	指揮命令の体制と業務を学ぶ。	・ 指揮命令の体制と業務を説明できる。
4	広報・安全管理	維持 →	広報・安全管理	座	災害時の多様な情報提供方法、報道機関対応の概要・課題を学ぶ。また、災害対応時の職員の健康と安全の確保の重要性を学ぶ。	・ 予防や災害対応に関する広報の役割の概要を説明できる。 ・ 多様な報道媒体の、災害広報における役割・特徴の概要を説明できる。 ・ 災害対応時の職員の健康と安全の確保の重要性を説明できる。
5	組織間連携	維持 →	組織間連携	座	組織内及び防災関係機関等との連携のあり方、円滑に連携するための方法や留意事項を学ぶ。	・ 組織内及び防災関係機関等との連携のあり方を説明できる。 ・ 円滑に連携するための方法や留意事項を説明できる。
6	災害対策本部業務	維持 →	災害対策本部業務	座	災害対策本部業務の目的と概要、災害対策本部会議を有効に運営するための方法を学ぶ。	・ 災害対策本部業務の目的と概要を説明できる。 ・ 災害対策本部会議を有効に運営するための方法を説明できる。
7	災害対策本部マニュアル	維持 →	災害対策本部マニュアル	座	実効性の高い災害対策本部マニュアルを作成するための手法および概念を学ぶ	・ 災害対応におけるプロジェクトマネジメントの枠組みを説明できる。 ・ 実効性の高いマニュアルを作成するための手法および概念を説明できる。
8	災害対策本部運営演習	維持 →	災害対策本部運営演習	演	災害対応時の具体的なテーマを設定し、初動～応急期における災害対応のための情報分析と実行管理の考え方を学ぶ。	・ 災害対策本部の一連の動きを説明できる。 ・ 情報を分析し、状況を把握することができる。 ・ 方針を決定し、計画を立案できる。
9						
10	全体討論	維持 →	全体討論	演	防災力アップのため、指揮統制のあり方や方法について学んだことを、災害時の広報業務にどのように反映させるのかを考える。	・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。

⑧ 「対策立案」

コース構成表（研修内容整理表 第4階層、第5階層）

※今後、防災研修コーディネーターにより見直しを実施

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)		単元 (第4階層)	手法	単元の概要	学 習 目 標 (第5階層)
1	対策立案総論	維持 →	対策立案総論	座	対策立案の基本的な考え方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 対策立案の基本的な考え方を説明できる。 戦略的な広報の基本的な考え方を理解できる。
2	業務体系	維持 →	業務体系	座	都道府県・市町村が実施すべき災害対応業務の体系を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県・市町村が実施すべき災害対応業務の体系を説明できる。
3	状況分析	維持 →	状況分析	演	情報収集と分析手法について、地理空間情報を活用した災害対応を演習形式で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 組織的に、情報を収集し、分析し、意思決定する方法を説明できる。 情報の集約分析における、地図情報等の活用方法を具体的に説明できる。
4	情報システムのあり方	維持 →	情報システムのあり方	座	災害時に活用できる情報システムのあり方、活用方法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に活用できる情報システムのあり方、活用方法を説明できる。
5	資源配置	維持 →	資源配置	演	人的資源、物的資源、空間・サービスの3つ資源の供給の基本的な考え方や方法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 人的資源の供給の基本的な考え方、方法を説明できる。 物的資源の供給の基本的な考え方、方法を説明できる。 空間・サービスの供給の基本的な考え方、方法を説明できる。
6	PlanningP	維持 →	PlanningP	座	意思決定を行う上で、目標管理型災害対応の理論と対応計画立案手法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> トップダウンによる作戦実行のための目標設定の考え方を説明できる。 対策立案の理論と手法を説明できる。
7	とりまとめ報作成演習	維持 →	とりまとめ報作成演習	演	情報収集と分析の考え方と手法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集に関する基本的な考え方を説明できる。 収集した情報を分析するためのポイントを具体的に説明できる
8	情報発信（広報）演習	維持 →	情報発信（広報）演習	演	地方公共団体の長や幹部は、被災者にどう向き合い、どう語るのかを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 記者会見におけるポイントを、視聴者の立場から説明できる。 記者会見時の内容（発言・態度等）に関する留意事項を説明できる。 記者会見の進行・運営における留意事項を説明できる。
9						
10	全体討論	維持 →	全体討論	演	防災力アップのため、対策立案のあり方や方法について学んだことを、災害時の広報業務にどのように反映させるのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> 研修受講の目的を再認識する。 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 研修を活かして次につなげることを認識する。

⑨ 「人材育成」

コース構成表（研修内容整理表 第4階層、第5階層）

※防災研修コーディネーターにより見直し済み

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)		単元 (第4階層)	手法	単元の概要	学習目標 (第5階層)
1	人材育成総論	維持	人材育成総論	座	人材育成の必要性や戦略、規定事項を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成の必要性を説明できる。 人材育成の規定事項について説明できる。 人材育成の手法の概要について説明できる。 人材育成の対象とポイントを説明できる。 人材育成のプログラム化を説明できる。
2	訓練・研修企画手法	維持	訓練・研修の実際	座	国や地方自治体等が実際に実施している訓練の事例を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 国が実際に実施している訓練の事例を説明できる。 地方公共団体が実際に実施している訓練の事例を説明できる。 各種研修機関が実施している研修の事例を説明できる。
3	訓練・研修の実際	維持	訓練・研修企画手法	座	防災訓練・研修を企画する際のポイントを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練・研修の体系を説明できる。 各種防災訓練・研修の特徴を説明できる。 防災訓練・研修の企画と留意点を説明できる。
4	訓練企画運営実践 I 討議型図上演習 (エスノグラフィー演習)	維持	訓練企画運営実践 I 討議型図上演習	演	訓練手法のうち討議型図上演習の一つであるエスノグラフィー演習を経験すると共に、様々な素材を用いたケースメソッドの考え方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 討議型図上演習（エスノグラフィー演習）の内容を説明できる。 様々な素材を用いた討議型図上演習の内容や考え方を説明できる。 討議型図上演習を実施する上での留意点を説明できる。
5						
6	訓練企画運営実践 II 状況付与型図上演習	維持	訓練企画運営実践 II 状況付与型図上訓練	演	訓練手法のうち状況付与型図上訓練の一つである災害対策本部運営訓練を経験すると共に、様々なシナリオを用いた状況付与型図上訓練の考え方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 状況付与型図上訓練の内容を説明できる。 状況付与型図上訓練の企画の考え方を説明できる。 状況付与型図上訓練の評価の考え方を説明できる。
7						
8	訓練の運営、 評価・改善手法演習	統合	新規 人材育成プログラム 作成演習	演	人材育成プログラムの作成手法や留意点について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成プログラムの作成方法や留意点を説明できる。 様々な訓練・研修を組み合わせた人材育成プログラムを作成できる。
9						
10						

⑩組織運営

コース構成表（研修内容整理表 第4階層、第5階層） ※今後、防災研修コーディネーターにより見直しを実施

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)		単元 (第4階層)	手法	単元の概要	学 習 目 標 (第5階層)
1	防災基礎総論	維持 →	防災基礎総論	座	防災・危機管理の基本的な考え方を学ぶ。	・ 防災・危機管理の基本的な考え方を説明できる。
2	災害への備え総論	維持 →	「災害への備え」総論	座	自助・共助・公助による「災害への備え」の基本的な考え方を学ぶ。	・ 災害予防の防災の中の位置づけ及び主な内容を説明できる。 ・ 災害予防における自助、共助、公助の意味と共助の重要性を説明できる。 ・ 防災における民間主体との連携のあり方を説明できる。 ・ 代表的な被害抑止対策について説明できる。
3	警報避難総論	維持 →	警報避難総論	座	警報避難対策の基本的な考え方と事前対策を学ぶ。	・ 警報等の伝達及び避難誘導の目的、実施主体と役割について説明できる。 ・ 警報等の伝達及び避難勧告等の判断・伝達の流れについて説明できる。
4	応急活動・資源管理総論	維持 →	応急活動・資源管理総論	座	応急活動の流れと資源管理に関する基本的な考え方について学ぶ。	・ 応急活動の流れと業務の概要について説明できる。 ・ 資源管理に関する基本的な考え方について説明できる。
5	被災者支援総論	維持 →	被災者支援の全体像	座	被災者支援の全体像を学ぶ。	・ 被災者支援の業務の流れを説明できる ・ 被災者支援において果たすべき機能を説明できる ・ 被災者支援の担い手について説明できる ・ 被災者支援の場について説明できる ・ 生活再建支援の全体像について説明できる
6	復旧復興総論	維持 →	復旧復興総論	座	被災者・被災地の復旧・復興の理念とプロセスの全体像について学ぶ。	・ 復旧・復興の理念を説明できる。 ・ 復旧・復興期のプロセスを説明できる。 ・ 復旧・復興期における被災者の復興感と地方自治体の役割を説明できる。
7	指揮統制総論	維持 →	指揮統制総論	座	指揮統制の基本的な考え方を学ぶ。	・ 災害対応における指揮統制システムの概要について説明できる。 ・ 対策立案に必要な体制について説明できる。 ・ 災害対応と事業継続マネジメントとの関係について説明できる。
8	対策立案総論	維持 →	対策立案総論	座	対策立案の基本的な考え方を学ぶ。	・ 対策立案の基本的な考え方を説明できる。 ・ ・
9	リーダーシップ 広報・安全管理 人材育成総論	維持 →	リーダーシップ 広報・安全管理 人材育成総論	座	災害対応における組織のリーダーシップのあり方や、広報・安全管理の重要性を学ぶ。また、平常時における人材育成の必要性や戦略を学ぶ。	・ 組織のリーダーとしての責任・心構えや自身がとるべき行動の基本を説明できる。 ・ 災害対応時の職員の健康と安全の確保の重要性を説明できる。 ・ 平常時における人材育成の必要性や戦略を説明できる。
10	全体討論	維持 →	全体討論	演	防災力アップのため、組織運営について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考える。	・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。